

たなばたものがたり
☆七夕物語☆

たなばた
七夕のものがたりは、ちゅうごく つた
中国から伝わりました。

いま ねん まえ はなし
今から2000年くらい前にできた話だといわれています。

い つた
こんな言い伝えがあります。

むかし かみさま むすめ おりひめ わかもの ひこぼし
昔あるところに、神様の娘の織姫と若者の彦星がいました。

おりひめ はたお はたら もの ひこぼし うし せ わ もの
織姫は機織りがじょうずな働き者、彦星は牛の世話をしているしっかり者
でした。やがてふたり けっこん
二人は結婚しました。

いま はたら もの ふたり きゅう あそ くら まった はたら
すると今まで働き者だった二人は急に遊んで暮すようになり、全く働か
なくなっていました。

すがた おこ かみさま ふたり あいだ あま がわ つく はな
その姿をみて、怒った神様は、二人の間に天の川を作って、離ればなれにし
てしまいました。あ ええなくなった ふたり な つづ
二人は泣き続けました。

み かみさま まえ はたら いちねん いちど ふたり
それを見た神様は、前のようにまじめに働いたら、一年に一度だけ、二人を
あ やくそく ふたり こころ い か いっしょうけんめいはたら
会わせると約束しました。それから二人は、心を入れ替えて一生懸命働く
ようになったのです。

ふたり ねん いちど しちがつなのか あま がわ わた あ ゆる
そして、二人は年に一度だけ、七月七日に天の川を渡って会うことが許され
るようになり、その日が七夕とされるようになりました。(七夕を八月七日に行
うところもある)

たなばた ひ あめ ふ あま がわ みず ふ わた とき
七夕の日に雨が降ると、天の川の水が増えて渡れなくなります。その時は
カササギというとり はね ひろ はし
鳥が羽を広げて、橋をつくってくれたそうです。

まいとし ふたり あ
そのおかげで、毎年、二人は会うことができるようになりました。